



1 計画の概要

■計画の背景と目標像

本市は、市街地が三方を山岳に囲まれながらも敦賀湾に面した平野部が広がり、自転車の交通分担率が県内で上位であるなど、比較的自転車を利用しやすいまちです。また、福井県や嶺南地域の玄関口として観光やサイクリングの拠点でもあります。

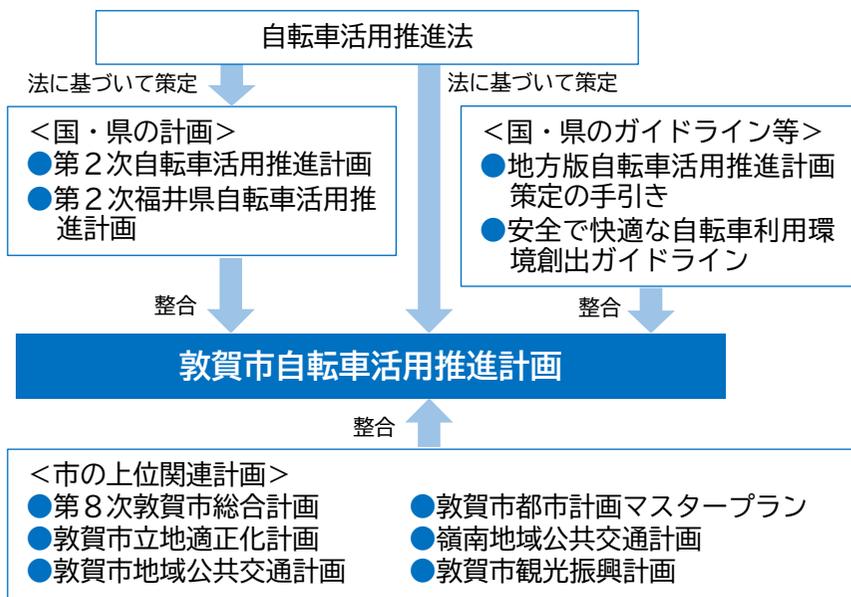
本計画では、国・県の自転車活用推進計画や各分野における課題を踏まえ、市民の様々なライフスタイルへの自転車の浸透、ナショナルサイクルルートへの指定を目指す「若狭湾サイクリングルート（わかさいくる）」の取組と連携したサイクルツーリズムの推進等を図るため、誰もが安全で快適に、そして楽しく、自転車を利活用することができるまちづくりを目指します。

【基本目標】

誰もが安全で快適に、楽しく
自転車を利用できるまち つるが

■計画期間 令和7年度～11年度（5年間）

■計画の位置付け



2 基本方針・自転車活用推進施策

基本目標の実現に向け、各分野で多様な施策に取り組みます。

【分野1】
自転車の
利用環境

自転車利用者に優しい環境づくり

方針1 | 自転車通行空間等の確保と維持管理

- ①自転車通行空間の確保と維持管理
- ②歩行者・自転車優先のまちづくり

方針2 | シェアサイクルの利用促進

- ①シェアサイクルの利用促進

方針3 | 公共交通機関、商業施設等との接続強化

- ①「自転車の駅」の周知
- ②自転車駐輪場の維持管理



【分野2】
自転車の
利用状況

クルマに依存しないライフスタイルの推進

方針1 | クルマから自転車への利用転換に向けた啓発

- ①日常的な自転車利用に向けた広報啓発
- ②自転車通勤や業務での利用促進

方針2 | 自転車を活用したレクリエーションやイベントの推進

- ①自転車を活用したレクリエーションの実施
- ②自転車に親しむ機会づくり



【分野3】
サイクル
ツーリズム

サイクルツーリズムの推進による地域振興

方針1 | わかさいくるを軸にした取組と利活用

- ①サイクリング環境の整備・維持
- ②マップやHPでの分かりやすい情報発信
- ③「自転車の駅」の周知【再掲】
- ④サイクリングツアーの実施に向けたガイドの育成

方針2 | 観光MaaSの利用促進

- ①つるがMaaSカードの利用促進



【分野4】
安全・
安心

事故の無い安全で安心な社会の実現

方針1 | 交通事故に備える取組の推進

- ①自転車利用者に対する交通安全意識の向上
- ②自転車の安全性の確保
- ③学校等における交通安全教室開催等の推進
- ④自転車利用時のヘルメット着用の啓発
- ⑤自転車損害賠償保険の加入促進
- ⑥指導啓発活動の推進、違反に対する指導取締り
- ⑦自動車運転者に対する交通安全意識の向上



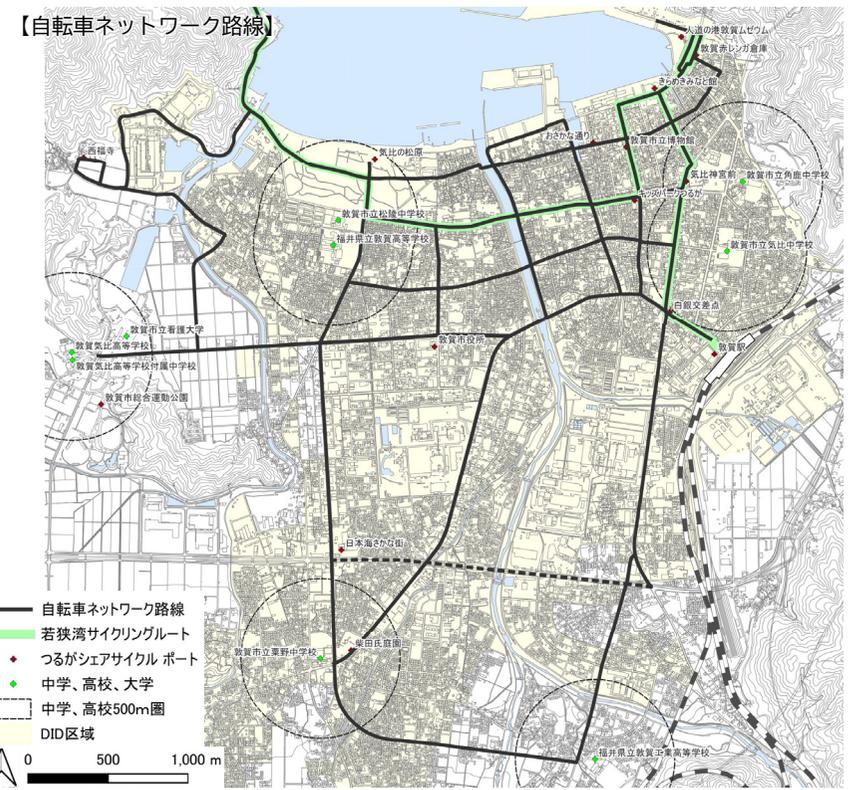
各分野の主な施策

自転車利用者に優しい環境づくり

方針1 | 自転車通行空間等の確保と維持管理

①自転車通行空間の確保と維持管理

・敦賀市自転車ネットワーク路線を対象として、利用者ニーズや地域状況を踏まえ、優先度の高い路線等から、段階的に自転車通行空間整備を行います。



クルマに依存しないライフスタイルの推進

方針1 | クルマから自転車への利用転換に向けた啓発

①日常的な自転車利用に向けた広報啓発

・クルマから自転車への転換による健康増進効果をはじめとする自転車による効用を整理し、市民へ広報啓発することでクルマから自転車への利用転換を図ります。

・また、カーボンニュートラルやSDGsに関する取組として、公共交通機関や自転車などを利用するスマートムーブ（エコで賢い移動手段の選択）を呼びかけます。

サイクルツーリズムの推進による地域振興

方針1 | わかさいくるを軸にした取組と活用

①サイクリング環境の整備・維持

・サイクリングルートにおいて迷わず安全に走行できる環境を整備するため、車道上の青い矢羽根等の統一した路面表示、案内看板等を設置し、適切に維持管理します。



【市内ルートの整備状況】

事故の無い安全で安心な社会の実現

方針1 | 交通事故に備える取組の推進

③学校等における交通安全教室開催等の推進

・幼稚園や保育園、小学校、中学校、高等学校等において、子どもの発達段階に応じた自転車の安全利用や安全に行動する力を身につける交通安全教室等を実施します。また、交通ボランティア等関係団体の指導力向上を図ります。



【就学前交通安全教室の実施】

3 計画の推進に向けて

推進体制

本計画は、庁内関係部局や関係機関・団体及び市民等と密に連携を図り、各種自転車施策を推進します。

計画の進捗状況については、学識者や関係者により構築する「敦賀市自転車活用推進会議」においてフォローアップに合わせて報告します。

成果指標

分野	目標指標
自転車の利用環境	つるがシェアサイクルのポート数 15ポート (R6) → 18ポート (R11)
自転車の利用状況	自転車の利用頻度 (週1回以上利用) 45% (R6) → 50% (R11)
サイクルツーリズム	つるがシェアサイクルの利用回数 17,257回 (R6.2~R7.1) → 20,000回 (R11)
安全・安心	自転車事故の発生件数 15件/年 (H26~R5) → 15件/年以下 (R7~11) 自転車損害賠償保険の加入率 42% (R6) → 50% (R11) ヘルメットの保有率 22% (R6) → 30% (R11)